



日本のまんなか  
水と緑といで湯の街渋川市

## 令和4年7月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和4年7月25日(月)  
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 株式会社北関スクリーンとドローンを活用した包括連携協定を締結します  
(資料1)
- 2 今、平和を考える。『沖縄本島のでんぷす(へそ)・宜野座村観光物産展&  
沖縄本土復帰50年の歴史を学ぶ』を開催します(資料2)
- 3 ヤングケアラー支援に取り組む基本方針などをお知らせします(資料3)
- 4 新型コロナ第7波の到来により保育所等が臨時休園となった場合の  
対応策を実施します(資料4)
- 5 ハワイ郡等関係者市長訪問歓迎式を実施します(資料5)

○次回開催予定

日時：令和4年8月1日(月)午前11時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
7月25日(月)	8:30 11:00 12:55 13:00 終了後 16:00	庁議 極めつきうどん開所セレモニー 広域組合退職者辞令交付式 (株)北関スクリーンとのドローンを活用した包括連携協定調印式 市長定例記者会見 第26回政策戦略会議	庁議室 極めつきうどん店舗内 市長室 記者会見室 記者会見室 庁議室	秘書室 市民協働推進課 広域組合 政策創造課 秘書室 秘書室
7月26日(火)	9:00 14:00 15:40	避難所開設・運営マニュアル検証 渋川広域圏における建設業に係る行政懇談会 令和4年度群馬県道路協会渋川支部役員会及び通常総会	古巻小学校体育館 プレヴェール渋川 プレヴェール渋川	危機管理室 土木管理課 土木管理課
7月27日(水)	15:50	2022年非核平和行進	庁議室、本庁舎玄関前	市民協働推進課
7月28日(木)	13:30 14:00	第7回渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 第27回政策戦略会議	第二庁舎202会議室 庁議室	総務経営課 秘書室
7月29日(金)				
7月30日(土)	16:00	渋川ボーイズ第19期生入団式	渋川ボーイズホームグラウンド	スポーツ課
7月31日(日)				
8月1日(月)	9:00 11:00 13:00	庁議 市長定例記者会見 伊香保ハワイアンフェスティバル2022オープニングセレモニー	庁議室 記者会見室 市営物聞駐車場メインステージ	秘書室 秘書室 観光課

## 株式会社北関スクリーンとドローンを活用した 包括連携協定を締結します

渋川市は、市内に本社を置く株式会社北関スクリーンと、ドローンを活用した包括連携協定を締結します。この協定により、地方創生や更なる地域経済の活性化及び市民サービスの向上など、地域の発展について連携を推進していきます。

### 1 趣 旨

渋川市は、市内に本社を置き、地域に貢献する株式会社北関スクリーンと包括連携協定を締結します。

この協定は、互いに持つ資源を有効に活用し協働した活動を推進することで、地方創生や更なる地域経済の活性化及び市民サービスの向上に資することを目的とするものです。

### 2 連携事項について

- (1) 防災・災害対策に関すること
- (2) 観光振興に関すること
- (3) 次世代教育・育成に関すること
- (4) 地方創生に資する取組に関すること
- (5) その他両者が協議して必要と認める事項に関すること

### 3 協定締結式の開催

- (1) 日 時 令和4年7月25日(月)午後1時から
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室
- (3) 内 容
  - ア 開会
  - イ 出席者紹介
  - ウ 協定締結(協定書署名)
  - エ あいさつ
  - オ 閉会
- (4) 出席者
  - ・株式会社北関スクリーン 代表取締役 野村 雅弘 氏
  - ・株式会社北関スクリーン 会長 野村 城弘 氏

### 4 その他

今回の株式会社北関スクリーンとの協定は、ドローンを活用して防災、観光、教育や地方創生といった多様な分野での協力を推進していく包括連携協定であり、県内では同様の連携協定はありません。

なお、ドローンを活用した災害時協定としては、渋川市は平成27年12月に「災害時の無人遠隔操作航空撮影に関する協定」を締結しており、県内では伊勢崎市が令和3年5月に災害時協定を締結している状況です。

■問い合わせ先

総合政策部 部長 田中 良 (内線2400)

担当：政策創造課 (電話0279-22-1880)

課長 佐藤 多恵子 (内線2420)

企画戦略・共生社会推進係 坂本 和馬 (内線2122)

## 資料2

# 今、平和を考える。『沖縄本島のでんぷす（へそ）・宜野座村観光物産展&沖縄本土復帰50年の歴史を学ぶ』を開催します

沖縄県が本土復帰50周年を迎えた今年、渋川市と同じく「へそのまち」である沖縄県宜野座村との友好をさらに深め、平和について考える機会につなげるため、物産展とパネル展を開催します。

### 1 概要

沖縄県が本土復帰50周年を迎えた今年、渋川市と同じく「へそのまち」という共通のテーマで交流のある沖縄本島のでんぷす（※）・宜野座村との友好をさらに深め、平和について考える機会につなげるため、「今、平和を考える。『沖縄本島のでんぷす（へそ）・宜野座村観光物産展&沖縄本土復帰50年の歴史を学ぶ』」を開催します。

※「てんぷす」とは、沖縄の方言で「へそ」の意味

### 2 開催期間

令和4年8月17日(水)～23日(火) ※市役所閉庁日を除く

▷物産展：午前10時～午後3時

▷パネル展：午前9時～午後5時

### 3 会場

渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

### 4 内容

#### (1) 物産展

道の駅「ぎのぎ」の協力のもと、海ぶどうや黒糖、フルーツジャムなど、宜野座村をはじめとする沖縄県の物産品を販売します。

#### (2) パネル展

宜野座村の紹介や沖縄の歩んだ歴史をパネルで展示します。また、宜野座村のPR動画を放映します。

### 5 周知方法

広報しぶかわ8月1日号及び市ホームページに掲載します

## 参考

### 1 宜野座村について

人口：6,227人（令和4年3月末現在）／面積：31.30km<sup>2</sup>

沖縄本島東海岸側の中央部“てんぷす”に位置し、沖縄自動車道を利用すると那覇空港から車で約1時間とアクセス条件が良好です。

平成11年に「沖縄本島の中心てんぷす宜野座」を宣言し、「全国へそのまち協議会」に加盟しました。

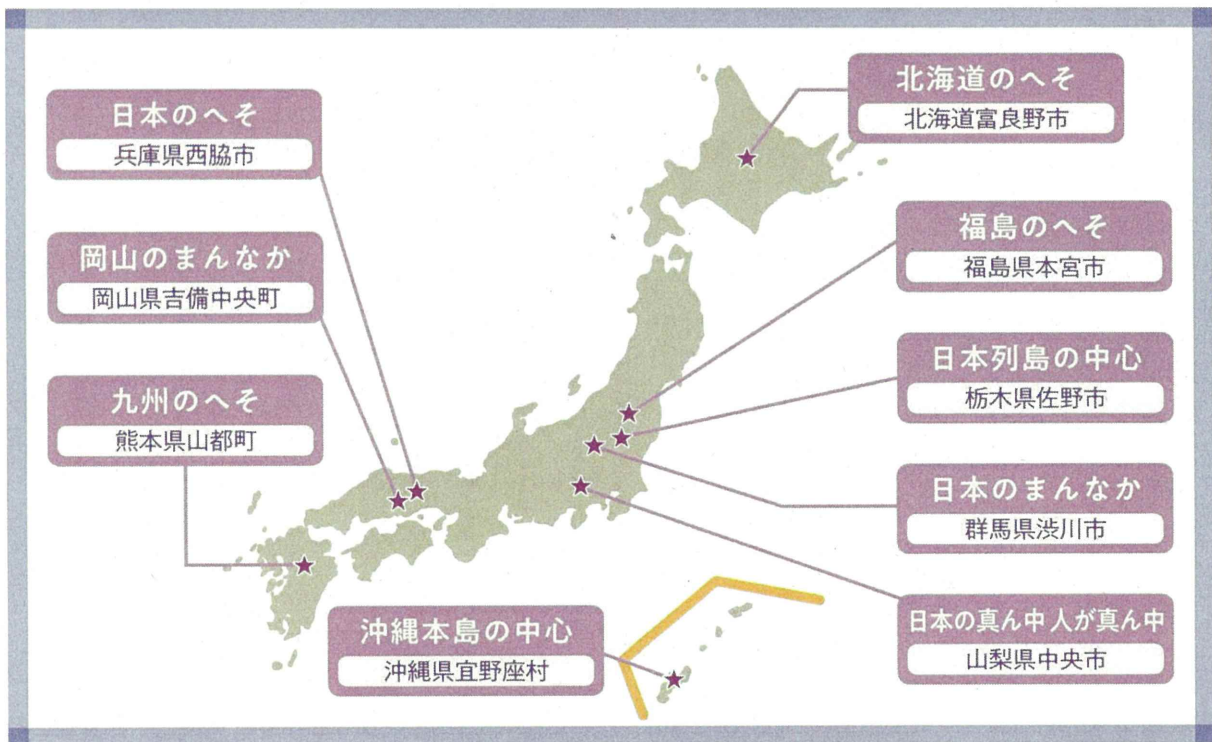
沖縄県内唯一の重点道の駅に選定されている道の駅「ぎのぎ」は、休日になると家族連れや観光客など多くの方が訪れ賑わいます。



## 2 全国へそのまち協議会について

「へそ」、「中心」、「重心」など、へそのまちを表明する市町村間で、親善と交流を通じて互いに連携し、活力と魅力ある地域づくりを進めようと、平成9年8月に渋川市、北海道富良野市、兵庫県西脇市、熊本県蘇陽町（現山都町）の4市町が発起人となり、全国の市町村に協議会への参加を呼びかけ、平成9年11月7日に全国へそのまち協議会が設立されました。

現在、北は北海道富良野市から南は沖縄県宜野座村まで全国9市町村が加盟し、総会行事や観光物産展などを開催するほか、加盟市町村が全国に点在しているという地理的特性を生かして、災害時の応援体制を定めた災害時相互応援の覚書を締結しています。



### ■ 問い合わせ先

市長戦略部 部長 伊勢 久美子 (内線2410)

担当：秘書室 (電話0279-22-2110)

室長 後藤 正己 (内線2411)

秘書政策係長 兵藤 正和 (内線2416)

## ヤングケアラー支援に取り組む基本方針などをお知らせします

渋川市は、ヤングケアラー支援に当たり、子どもの気持ちに寄り添う中で実態を把握し、支援に取り組めます。

今回は、渋川市がヤングケアラー支援に取り組む基本方針や、今年度の取り組みについてお知らせします。

### 1 現 状

国では、令和4年度から3年間をヤングケアラー（※）の認知度向上の「集中取組期間」としており、また、その早期発見・把握と支援の推進が必要とされています。

国（厚生労働省、文部科学省）の調査では、中学生の17人に1人、高校生の24人に1人が「世話をしている家族がいる」と回答していることから、渋川市にも一定数のヤングケアラーの可能性のある子どもがいると考えられます。

渋川市は、このようなヤングケアラーを発見し、支援を行うための基本方針を関係機関で協議し、共有しました。

### ※ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいうとされています。

（厚生労働省ホームページより）

### 2 これまでの取り組み

#### (1) 政策戦略会議

- ア 議 題 「ヤングケアラーの現状把握及び支援策について」
- イ 開催数 令和3年7月から令和4年5月にかけて3回(次回は10月以降を予定)
- ウ 参加者 市長、教育長、市長戦略部長、福祉部関係職員及び教育部関係職員

#### (2) 研修会

- ア 演 題 「ヤングケアラーの理解と支援」
- イ 講 師 中部教育事務所スクールソーシャルワーカー 藤澤都茂子氏
- ウ 開催日 令和4年2月16日
- エ 会 場 金島ふれあいセンター
- オ 対 象 市内小中学校養護教諭、民生委員・児童委員等（参加者61名）

#### (3) 市民意識調査

- ア 概 要 令和4年度市民意識調査及び中学・高校生意識調査において、ヤングケアラーの認知度について調査
- イ 実施時期 令和4年5月～6月
- ウ 対 象 者 市民意識調査＝18歳以上の市民4,000人  
中学・高校生意識調査＝市内中学校・高等学校の第2学年生徒及び渋川特別支援学校高等部の生徒

#### (4) 周知

広報しぶかわ（7月1日号）に特集記事及び市ホームページへの掲載

### 3 取り組みの基本方針

- (1) ヤングケアラーという言葉が一人歩きし、ヤングケアラー本人や家族を傷つけたり、市民に誤ったイメージを与えたりすることのないよう、丁寧に取り組みます。
- (2) ヤングケアラーを発見したら、即、介入するのでなく、ヤングケアラー本人や家族の想いを第一に考え、本人や家族の意向を尊重し、意向に応じた支援ができる体制を構築します。
- (3) ヤングケアラーについては、ヤングケアラーだけが問題であることは少なく、いくつかの問題が複雑に絡んでいることが多いため、これらを解きほぐし、支援していく中でヤングケアラーの問題も解決に向け支援していきます。
- (4) ヤングケアラーに寄り添い、支援を行うため、子どもの状況を把握しやすい学校（教育委員会）と、子どもの健全な育成を保証する福祉部局が中心となり、地域や各種の福祉サービスなどと綿密に連携を図っていきます。

### 4 今年度の取り組み

- (1) 子どもの支援に向けて  
ヤングケアラーに限定することなく、子どもの様々な困りごとをすくい取ることとし、子どもの気持ちを尊重しながら、困りごとの内容に応じてどのように寄り添っていくか、どのような支援が必要かを検討します。その際、当事者が誹謗中傷を受けたりすることのないよう留意します。
- (2) 支援体制  
教育部局と福祉部局が中心となり、市内関係機関の連携体制を構築します。
- (3) 関係者研修  
子どもを取り巻く大人、関係機関のヤングケアラーの理解を深めるため、研修会を実施します。
- (4) 情報共有  
県ヤングケアラー支援庁内外連絡会議や他機関との情報共有、連携を通してヤングケアラーの周知や支援について理解を深めます。

#### ■問い合わせ先

福祉部長 山田 由里（内線1200）

担当：こども課（電話0279-22-2415）

課長 藤井 成行（内線1201）

子育て支援係長 横田 美由紀（内線1242）



## 新型コロナ第7波の到来により 保育所等が臨時休園となった場合の対応策を実施します

渋川市は、渋川市教育・保育施設（保育所、認定こども園、幼稚園）が新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園となった場合において、家庭での保育が困難で行動制限のない在籍園児を対象に、渋川市子育て支援総合センターを活用し、臨時休園の施設に勤務する行動制限のない職員の派遣によって、新型コロナウイルス感染症特例型一時預かり事業を実施します。

この事業の開始時期について、当初（令和4年6月時点）は、保育用具や感染対策物品の調達状況を踏まえ、10月以降を予定していましたが、急速に拡大する第7波の到来を受け、1カ月前倒して9月からとします。

また、放課後児童クラブが臨時休所になった場合は、現状で定員を満たしていないクラブのうち、児童の送迎対応が可能なクラブを保護者に案内して、利用できる環境を整えています。

### 1 目的

この事業は、渋川市教育・保育施設（保育所、認定こども園、幼稚園）に在籍する園児又は勤務する職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したことに伴い、施設内における感染まん延の恐れ及び職員による保育の実施体制の確保への支障を勘案して臨時休園の措置を講じた場合において、保護者の就労継続を可能とする保育機能を維持することを目的とします。

### 2 事業の背景

第6波の僅か5カ月間（令和4年1月～5月）に、市内において9回も臨時休園に至り、保護者は、仕事を休めず子どもの預け先に困る状況が生じました。

施設長からは、施設間の緊急的な協力や連携による保育は困難なため、渋川市による代替保育の実施を求められています。

園児の居場所の確保に対する国の考え方は、必要な者に保育を提供できるよう、市区町村において代替保育等の実施を検討することとしています。

このような新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休園を取り巻く現状を踏まえ、保護者の就労継続を可能とする保育機能を維持する取り組みが、渋川市の課題となっています。

### 3 事業の内容

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 対象児童 | 臨時休園の施設に在籍する園児<br>※家庭において必要な保育を受けることが困難な園児かつ行動制限のない園児（濃厚接触者等でない園児）に限る。   |
| (2) 実施期間 | 臨時休園の期間  |
| ア 実施日    | 月曜日から土曜日まで（祝日及び年末年始等を除く。）  |
| イ 開始日    | 渋川市、臨時休園の施設長及び実施施設の施設長が協議して決定  |
| ウ 実施時間   | 午前7時から午後7時15分までの間のうち、臨時休園の施設が行う本来の保育時間の範囲内で、保護者が保育を必要とする時間               |
| (3) 実施施設 | 渋川市子育て支援総合センター（キッズランド及び園庭）<br>※関係者（園児、保護者、保育従事者）以外がキッズランド及び園庭に出入りすることを制限 |
| ア 利用定員   | 概ね80人（園児の年齢や派遣職員の人数などにより変動）  |
| イ 保育用具   | 小物遊具、文具、園児椅子、救急箱等を購入   |

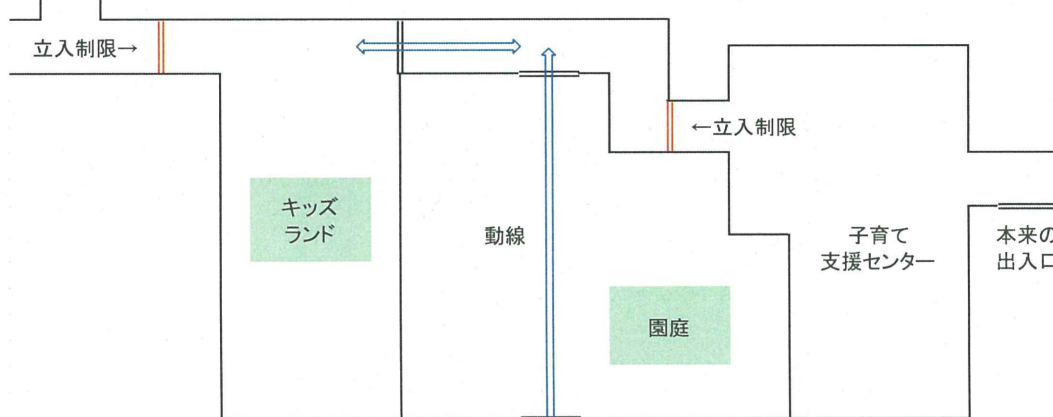
- (4) 職員配置 臨時休園の施設に勤務する職員の派遣により、国の配置基準に従い保育に必要な人数を確保して従事する職員を配置  
※行動制限のない職員（濃厚接触者等でない職員）に限る。
- (5) 感染対策 非接触型体温計、空気清浄機、二酸化炭素濃度測定器、殺菌庫等を配備し、渋川市教育・保育施設における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに従って徹底した感染対策を実施
- (6) 利用料 無料

#### 4 事業開始までのスケジュール

- ・令和4年5月 事業内容に対する施設長からの意見聴取、実施施設の見学
- ・令和4年6月～ 保育用具及び感染対策物品の調達
- ・令和4年7月 施設長に対する事業開始説明会
- ・令和4年9月 事業の開始

- 5 予算額 330万円（新型コロナウイルス感染症特例型一時預かり事業）  
※令和4年度一般会計補正予算第2号で措置済み

渋川市子育て支援総合センター（見取図、キッズランドと園庭の現況）



駐車場



#### ■ 問い合わせ先

福祉部 部長 山田 由里（内線1200）  
 担当：こども課（電話0279-22-2415）  
 課長 藤井 成行（内線1201）  
 保育幼稚園係長 後藤 景太（内線1244）



## ハワイ郡等関係者市長訪問歓迎式を実施します

「伊香保ハワイアンフェスティバル2022」の開催に当たり、渋川市の姉妹都市であるハワイ郡から来市した関係者を歓迎し、相互の友好交流を深めるため、歓迎式を実施します。

### 1 概 要

「伊香保ハワイアンフェスティバル2022」の開催にあたり、渋川市の姉妹都市であるハワイ郡から来市した関係者を歓迎し、相互の友好交流を深めるため歓迎式を実施します。

歓迎式では、両都市の代表が挨拶を交わし、記念品の贈呈及び記念撮影を予定しています。

2 日 時 令和4年8月2日(火) 午前10時～午前11時

3 場 所 渋川市役所本庁舎 2階 庁議室

### 4 訪問歓迎式次第

(1) 関係者紹介

(2) 歓迎挨拶

ア 渋川市長

イ 渋川市国際交流協会長

(3) 訪問者あいさつ

ア ハワイ郡長

イ ハワイ郡議会副議長

ウ ハワイ島日系人協会長

エ ハワイメリーモナークフェスティバル実行委員会代表代理

(4) 記念品贈呈

(5) 記念写真撮影

### 5 訪問予定者(ハワイ郡関係者等14名)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ・ハワイ郡長      | ミッチ ロス 氏    |
| ・ 同 夫人      | ノリコ ロス 氏    |
| ・ハワイ郡議会副議長  | アーロン チャン 氏  |
| ・ 同 夫人      | アン チャン 氏    |
| ・ハワイ島日系人協会長 | ドウェイン ムカイ 氏 |

